

2010年度

科目名	地域ネットワーク論				
担当教員	箱田 徹				
配当	薬学2			コード	31050
開期	前期	講時	水曜日1限	単位数	2
授業テーマ	現代の地域社会の抱える問題を原理と実際の両面から考える				
目的と概要	地域や社会を考える上で必要な言葉について整理し、それらの概念を用いて現代的な問題について考察する。				
成績評価法	中間試験30%、期末試験40%、平常点30%				
テキスト	なし				
参考書	必要があればその都度指示する				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	イントロダクション	講義全体の見通しを得る	独自(1)	知識
2	講義	地域とは何か(1): 概念整理	地域、コミュニティ、社会という概念間の異同が説明できる	独自(1)	知識
3	講義	地域とは何か(2): 日本の歴史とのかかわり	地域社会の形成について日本社会の例をもとに説明ができる	独自(1)	知識
4	講義	地域とは何か(3): ヨーロッパの歴史とのかかわり	地域社会の形成についてヨーロッパの例をもとに説明ができる	独自(1)	知識
5	講義	国家とは何か(1): 公共圏と国家	公共圏(公共性)の概念について説明ができる	独自(1)	知識
6	講義	国家とは何か(2): 市民社会の形成	市民社会の形成過程について、ヨーロッパの歴史を踏まえながら説明ができる	独自(1)	知識
7	講義	国家とは何か(3): 国民国家と近代	近代国民国家の基本的な構造について説明できる	独自(1)	知識
8	講義	中間まとめ	地域社会と近代性に関する基本的な概念整理ができ、それについて意見を述べることができる	独自(1)	知識
9	講義	現代の多文化状況 を考える(1)	国民、民族と人種という概念の歴史的経緯について説明できる	独自(1)	知識
10	講義	現代の多文化状況 を考える(2)	グローバル化と現代社会の多文化状況の特徴について説明できる	独自(1)	知識
11	講義	現代の多文化状況 を考える(3)	多文化・多民族状況について日本の事例を使って説明できる	独自(1)	知識
12	講義	多文化状況の困難さ: 映画『グラン・トリノ』(C. イーストウッド)を事例に(1)	米国近代史と多文化状況の関連性を説明できる	独自(2)	知識
13	講義	多文化状況の困難さ: 映画『グラン・トリノ』(C. イーストウッド)を事例に(2)	ベトナム戦争とインドシナ難民の発生について説明できる。	独自(2)	講義
14	講義	多文化状況の困難さ: 映画『グラン・トリノ』(C. イーストウッド)を事例に(3)	米国の移民の社会的統合をめぐる問題について説明できる	独自(2)	講義
15	講義	総括	地域社会にかかわる概念の歴史的経緯と、現代の地域社会が抱える問題について説明し、自分の意見を述べることができる	独自(1)	知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
独自(1)	講義	講義室	1	配布資料	90x12
独自(2)	講義	講義室	1	映画DVD	90x3